

# 広島県森林協会報

題字 正木 完

〒730-0017 広島市中区鉄砲町 4-1 土地改良会館 3 階 (一社) 広島県森林協会 編集責任者 梶保 節男  
TEL 082-221-7191 FAX 082-221-7194 E-mail:mori@hsk.ecweb.jp http:// www.hsk.ecweb.jp/

## 第49号



新しい広島県森林協会の事務所(3階)

### 目 次

一般社団法人広島県森林協会定時総会の開催	2	公益目的支出計画実施報告	10
広島県森林土木建設事業促進協議会通常総会	6	林業・環境緑化写真コンクール作品募集	11
【トピックス】森林協会関連新聞記事	8	【トピックス】事務所移転について	12
市町治山林道事業担当職員技術研修会	9		

## 『 木を育て 森を育み 土砂防ぐ 』

平成28年度山地災害防止標語コンクール最優秀賞 (林野庁長官賞) 和歌山県有田市 岡本 浩希 さん

## 平成29年度 (一社) 広島県森林協会定時総会の開催

平成29年度定時総会を、7月21日(金)に広島市内のリーガロイヤルホテル広島において、会員多数の出席により盛会裏に開催いたしました。

当日は、会長の藏田東広島市長が開会あいさつで、『一般社団法人として再スタートしてから5年目の節目を迎えた定時総会です。(会員及び来賓の皆様方への謝辞のあと)、森林・林業を取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、林業再生への取組の兆しが見られる一方、昨年4月の熊本地震や今年7月の九州北部地域の豪雨などの自然災害が多発しており、改めて森林の持つ公益的機能の高度発揮のための森林整備施策が注目されています。国においては「森林・林業基本計画」に基づき、林業の成長産業化や地方創生などの対応が示されており、広島県においても「2020広島県農林水産業チャレンジプラン」の実現に向けたアクションプログラムを実施されているところです。当森林協会も国、県の森林・林業施策に協力しながら、引き続き、森林整備や災害復旧支援など会員の皆様のお役にたつ形で、各種事業の取組に力を入れて行きたい。』と述べられました。

続いて、森林土木事業功労者表彰が行なわれ、安芸高田市職員の五島博憲さんに、藏田会長から表彰状と記念品が授与されました。また、林道維持管理コンクールの表彰では、府中町の「呉娑々宇線」が選ばれ、岡野副町長に表彰状と記念品が授与されました。

来賓として出席いただいた溝手顕正参議院議員、上仲孝昌農林水産局長(知事代理)、(一社)日本治山治水協会の津元頼光専務理事から祝辞をいただくとともに、林業関係団体からの来賓各位のご紹介の後、定款の定めにより藏田会長が議長となり、議事に入りました。

議案として提出された、平成28年度事業報告・収支決算・公益目的支出計画実施の報告、平成29年度会費の賦課基準及び会費の決定等について、会員からの異議は無く原案のとおり承認されました。

また、今回、2名の理事の任期満了に伴う役員の改選についても、引き続きの理事の選任が承認され、現行の会長、副会長、理事等の役員体制が決定されました。

さらに、5月の理事会で承認を得た平成29年度事業計画・収支予算について、引き続きこれまでの事業と公益目的事業を効率的に融合させ農山村地域の活性化に努めていくことが報告されました。

最後に、大会決議を梶保常務理事が朗読により提案し、満場一致で採択し全ての議事を終了しました。



会長あいさつ 藏田東広島市長



来賓祝辞 溝手参議院議員



来賓祝辞 上仲農林水産局長

### 森林土木事業功労表彰

治山事業、林道事業及び公園整備事業の円滑な推進について、他の模範となるべき実績のあった市町職員及び森林組合（森林協会会員）の役職員の功績をたたえるために、昭和50年から表彰を行なっているもので、平成29年においては西部農林水産事務所長から推薦のあった次の方が、会長表彰されました。

所 属	氏 名
安芸高田市	五島博憲



表彰を受ける安芸高田市五島課長

### 林道維持管理コンクール表彰

森林の整備・利用と山村の活性化に寄与する林道について、維持管理業務の推進と改善を促進し、林道の保全と通行の安全を目的として、維持管理状況の優秀な路線を表彰するもので、平成29年度は西部農林水産事務所長から推薦のあった次の路線が、会長表彰されました。



表彰を受ける府中町岡野副町長

市町名	路線名	開設年度	幅員	延長
府中町	呉娑々字線	S32~H2	4.0m	6,365m (全舗装)

ご出席いただいたご来賓の皆様（順不同）

参議院議員	溝手 顕正 様	(一財)広島県森林整備・農業振興財団
広島県農林水産局長		常務理事 相良 伊知郎 様
(知事代理)	上 仲 孝昌 様	広島県樹苗農業協同組合
(一社)日本治水治山協会		専務理事 富田 茂生 様
専務理事	津元 頼光 様	(公社)広島県みどり推進機構
広島県林業改良普及協会		事務局長 奥迫 輝昭 様
会 長	津野瀬 武久 様	
広島県森林組合連合会		このほか広島県関係部・課長に出席頂きました。
専務理事	田 端 秀秋 様	

## 1 平成28年度決算 (単位: 千円)

会計区分	実施事業等(公益)	その他(受託)	その他(共益)	法人	計
経常収益	0	116,189	7,630	0	123,819
事業費支出	21,986	113,388	3,895	0	139,269
管理費支出	0	0	0	1,644	1,644
経常費用計	21,986	113,388	3,895	1,644	140,913
当期経常増減額	△21,986	2,801	3,735	△1,644	△17,094
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	21,986	△9,986	△13,644	1,644	0
当期一般正味財産増減額	0	△7,185	△9,908	0	△17,093
当期一般正味財産期首残高	0	131,631	231,908	0	363,540
当期一般正味財産期末残高	0	124,446	222,000	0	346,446

## 2 平成29年度予算 (単位: 千円)

会計区分	実施事業等(公益)	その他(受託)	その他(共益)	法人	計
経常収益	0	104,460	7,680	0	112,140
事業費支出	6,627	108,960	7,680	0	123,267
管理費支出	0	0	0	1,910	1,910
経常費用計	6,627	108,960	7,680	1,910	125,177
当期経常増減額	△6,627	△4,500	0	△1,910	△13,037
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
経常外増減額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△6,627	△4,500	0	△1,910	△13,037
当期一般正味財産期首残高	0	124,446	222,000	0	346,446
当期一般正味財産期末残高	△6,627	119,946	222,000	△1,910	333,409

## 3 参考

## (1) 会費収入の状況 (単位: 千円)

年度	普通会費	治山事業特別会費	林道事業特別会費	合計
24	240	4,637	3,337	8,214
25	240	4,006	3,241	7,487
26	240	6,060	3,826	10,126
27	240	4,579	2,832	7,651
28	240	4,407	2,609	7,256
29(計画)	240	4,704	2,443	7,388

## (2) 受託事業の状況 (単位: 千円)

年度	治山事業	林道事業	その他	合計
24	29,023	104,494	6,760	140,277
25	34,268	70,922	7,186	112,376
26	56,179	52,100	4,819	113,098
27	45,673	33,730	8,747	88,150
28	47,317	62,701	5,777	115,795
29(計画)	28,400	67,800	7,700	103,900

## 一般社団法人 広島県森林協会役員名簿

平成29年7月21日

会長理事	東広島市長	藏田 義雄	理事	三次市長	増田 和俊
副会長理事	坂 町 長	吉田 隆行	理事	大崎上島町長	高田 幸典
副会長理事	安芸高田市長	浜田 一義	監事	安芸太田町長	小坂 眞治
副会長理事	庄原市長	木山 耕三	監事	大竹市長	入山 欣郎
常務理事(新)	学識経験	梶保 節男			

## 決 議

昨年は、熊本地震をはじめ東北や北海道の豪雨災害など未曾有とも言える大規模な自然災害が多発し、改めて各地域における減災への対応が問われることになった。

特に、近年の山地災害の激甚化により、森林の防災機能に関心が寄せられているが、過疎化・高齢化が進む山村地域では、森林整備の遅れなどによる森林機能の低下で生活基盤の脆弱化につながるものが心配されている。

森林は、地球温暖化の防止や水源かんよう等多様な機能を果し、「緑の社会資本」として国民生活の安定・安心に欠かすことができないものである。

このような中、国においては昨年5月に「森林・林業基本計画」が策定され、「資源の循環利用による林業の成長産業化」「原木の安定供給体制の構築」「木材産業の競争力強化と新たな木材需要の創出」「林業及び木材産業の成長産業化等による地方創生」そして「地球温暖化対策、生物多様性保全への対応」の5項目を森林及び林業をめぐる情勢変化等を踏まえた対応方向として示したところである。

県においても、林業の構造改革が推進され、「2020広島県農林水産業チャレンジプランアクションプログラム」に基づき、県産材の効率的で安定的な供給体制の確立など諸施策が展開されるとともに、「ひろしまの森づくり県民税」については、本年度から第3期の5年計画がスタートし、県民全体で森林を守り育てる事業が推進されている。

しかし、森林整備の推進、豊富な資源を活用した山村再生、地域の安全・安心の確保に向けた治山・林道対策などの取り組みを一層進めるためには、必要な財源・予算の確保が図られなければならない。

そこで、林業の成長産業化の推進や安全・安心に貢献できる森林の整備と保全のため、次の施策を強力に推進するよう国・県当局に強く要望する。

- 1 森林の公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるための整備と保全の充実
- 1 大規模自然災害に対応した治山対策の推進
- 1 木質バイオマス等地域資源を活用する産業の再生や、都市との交流による定住促進などを通じた地方創生
- 1 県産材の自給率を高める木材利用の推進
- 1 「ひろしまの森づくり県民税」等を活用した県民参加の森林づくりの推進

以上決議する。

平成29年7月21日

一般社団法人広島県森林協会平成29年度定時総会

## 第34回 広島県森林土木建設事業促進協議会通常総会

第34回通常総会は、6月29日(木)広島市内のリーガロイヤルホテル広島で、会員及び県内各地区の代議員が出席して開催されました。

総会では、はじめに後藤会長代行が、『大規模地震や激甚な豪雨災害などの近年の自然災害は想定を大きく超える被害が発生している。森林整備の重要性と災害を未然に防ぐ森林土木事業の充実を推進する必要がある。平成29年度広島県農林水産局の森林整備・治山事業等の公共事業関連予算は、46億8千万円、環境県民局の自然公園整備等関係予算は2億5千万円が確保されました。事業実施には会員の優れた技術と経験を十分に発揮し、行政や地域の期待に応えて欲しい。日頃の皆様のご努力に対し敬意を表するとともに、引き続きご研鑽・ご協力をお願い致します。』とあいさつされました。

続いて、広島県林業振興部長 岡村篤憲様、(一社)全国森林土木建設業協会専務理事 高畑博之様からご祝辞があり、この後議事に入り、提出された第1号から第3号議案は、いずれも原案のとおり承認されました。その後、第4号議案の役員の変更が行われ、新会長に広島県森林組合連合会会長の小林秀矩氏、副会長に広島県建設業協会連合会会長の空久保求氏が選ばれました。

最後に、施工技術の向上を図ることを目的として実施している「森林土木工事コンクール」の平成28年度完成の優秀工事の表彰を行い、次の2者に表彰状と記念品が授与されました。



小林新会長と受賞者の方々

受賞者：株式会社 大蔵組(庄原市)  
芸北工業株式会社(北広島町)



就任のあいさつをする小林新会長

ご出席いただいたご来賓の皆様(順不同)

広島県 林業振興部長 岡村 篤 憲 様  
(一社)全国森林土木建設業協会  
専務理事 高畑 博 之 様

林業課長 高木 孝夫 様  
森林保全課長 山崎 裕実 様  
自然環境課長 秋田 修 様

## 1 平成28年度収支決算 (単位:円)

## (1) 収入の部

科 目	決算額
会 費	2,070,000
事業費 (助成金)	50,000
雑収入	111,594
研修受講料	99,000
繰越金	225,635
計	2,556,229

## (2) 支出の部

科 目	決算額
会議費	183,606
事業費	1,420,366
事務費	626,086
研修開催費	99,000
諸雑費	15,000
計	2,344,058

## 2 平成29年度予算 普通会計 (単位:円)

## (1) 収入の部

科 目	予算額
会 費	2,010,000
事業費 (助成金)	50,000
雑収入	107,829
研修受講料	90,000
繰越金	212,171
経営安定基金取崩し収入	0
計	2,470,000

## (2) 支出の部

科 目	予算額
会議費	200,000
事業費	1,530,000
事務費	625,000
研修開催費	100,000
諸雑費	15,000
予備費	0
計	2,470,000

## 3 平成29年度予算 経営安定基金会計 (単位:円)

区 分	予 算 額	備 考
前年度までの額	2,000,000	18年度から積立
一般会計への繰り入れ	0	
基金差額	2,000,000	

## 平成29年度広島県森林土木建設事業促進協議会役員

平成29年 6月29日現在

会 長	広島県森林組合連合会会長 小林 秀 矩	代議員	広島地区	沼 田 聖
		代議員	呉地区	岡 本 弘 之
副会長	広島県建設業協会連合会会長 空久保 求	代議員	芸北地区	斉 藤 哲 也
		代議員	東広島地区	近 光 一 巳
監 事	(一社)広島県造園建設業協会会長 正 本 大	代議員	尾三地区	三 鼓 勝 美
		代議員	福山地区	志 垣 謙 二
監 事	広島地区代議員 沼 田 聖	代議員	三次地区	加 藤 修 司
		代議員	庄原地区	笹 尾 進

### 【トピックス①】 森林協会関連新聞記事

#### (1) 林道維持管理コンクール(呉娑々宇線)



#### (2) 広島県森林土木建設事業促進協議会通常総会(6月29日)





## 平成29年度 市町治山林道事業担当職員技術研修会

市町職員の森林土木技術の習得と技術の向上を図るため、市町治山林道事業担当職員技術研修会を、広島県林業課・森林保全課の協力を得て開催しました。

梅雨時期の天候が気になるころではありましたが、6月20(火)・21日(水)の2日間、広島パシフィックホテル会議室を会場として、室内での講義を実施しました。

参加者は、県内の16市町から33名、広島県及び森林協会からも10名が参加して、1日目は「治山事業の概要、治山林道事業の設計積算業務及び保安林林地開発許可業務の概要」についての講義、2日目は「林道事業の概要及び林道施設災害復旧事業」について講義が行われました。



開会のあいさつをする梶保常務理事

(講師を務めていただいた方)

農林水産局	林業課	林業基盤グループ	主	任	向井 健浩	様
農林水産局	森林保全課	治山グループ	主	任	岩生 真太郎	様
	〃	保安林グループ	技	師	堤 浩 気	様
農林水産局	農林整備管理課	技術管理グループ	主	任	梅木 孝法	様

## 「公益目的支出計画」の実施状況について

平成24年6月に一般社団法人に移行して以降、公益目的支出計画で認定された事業を計画的に実施し、大きな成果をあげてきていますが、これまでの事業の評価と見直しを行い、会員である市町及び広く県民のために貢献できる適切な事業を展開していくこととしています。

### 公益支出計画実施報告書（平成28年度 一般社団法人 広島県森林協会）

○平成28年度（28年6月1日から29年5月31日まで）全体

1 公益目的財産額	412,229,186
2 当該事業年度の公益目的収支差額	127,242,389
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	105,256,040
(2)当該事業年度の公益目的支出額	21,986,349
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	0
3 当該事業年度末日の公益目的財産残額	284,986,797

○公益目的支出計画の状況 ・計画上の完了見込み 平成40年5月31日（計画のとおり）

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	412,229,186	412,229,186	412,229,186	412,229,186	412,229,186
公益目的収支差額	104,504,880	105,256,040	130,631,100	127,242,389	137,258,100
公益目的支出の額	26,126,220	30,467,269	26,126,220	21,986,349	6,627,000
実施事業収入の額	0	0	0	0	0
公益目的財産残額	307,724,306	306,973,146	281,598,086	284,986,797	274,971,086

○ 公1（森林林業に関する指導者育成事業）

- ア 森林・林業に関する指導者育成研修会 「子ども樹木博士」 64名参加  
「森の達人研修」 15名参加

○ 公2（治山・林道施設等の調査事業及び自主防災組織育成事業）

- ア 山地災害から地域を守る集い 平成28年10月29日（土）、広島市、350名  
イ 自主防災組織育成支援事業 26団体に助成金を交付  
ウ 治山・林道施設の点検調査 林道施設の点検調査等の実施

○ 継1（県民参加の森林づくりに関する普及啓発事業）

- ア 「ひろしまの林業」共同発行 広島県林業改良普及協会、県森連と共同、2,220部発行  
イ 林業・環境緑化写真コンクールの開催  
ウ 林業普及図書の配布 公民館等452施設に普及図書等を配布  
エ みどりの集いの開催 4月29日、広島県緑化センター 3,800人参加

○ 継2（治山・林道等に関する技術研修事業）

- ア 市町治山・林道担当職員技術研修会 26名参加  
イ 測量学研修 12名参加  
ウ 森林・林業業務市町新任者基礎研修会 19名参加  
エ 広島県林務・自然公園関係予算説明会 24名参加

# 平成29年度 林業・環境緑化写真コンクール作品募集

森林・林業・環境緑化をテーマにした写真を募集します。

## 主催

(公社)広島県みどり推進機構  
(一社)広島県森林協会  
広島県林業改良普及協会

### 平成28年度主な入選作品



森林生産システム研究会(入選)



森の女王ウスキノガサタケ(入選)



緑蔭で憩う(入選)



林間学校(特選)

## 締め切り 平成30年1月31日

**■ 題 材** 県内の林業作業風景、林相、山村の民家、木造建築、木材加工などを対象としたもの。学校、工場、広場などの環境緑化のための植樹作業風景又は、森林レクリエーション施設などの利用風景などを対象としたもの。

**■ サイズ** 2L版(12.7cm×17.8cm)  
カラー、縦位置可

**■ 作 品** 未発表の作品に限ります。  
応募票様式に住所、氏名、撮影年月日、場所、題(タイトル)と簡単な説明を明記(応募票)し、添付してください。出品点数は特に制限はありません。

**■ 応募資格** 広島県在住者であること。  
職業写真家でないこと。

**■ 賞および賞品**  
特選 2点 (賞金2万円)  
入選 10点 (賞金5千円)  
佳作 若干 (賞金3千円)

**■ 入選発表** 結果は、平成30年4月上旬(予定)に広島県林業改良普及協会発行の「ひろしまの林業」誌上で発表します。

**■ その他** 入選作品は、平成30年度「ひろしまの林業」の表紙に使用するほか、県民の緑化意識の啓発、高揚を図るため、林業、環境緑化関係の広報資料として使用します。  
応募作品の著作権は広島県林業改良普及協会に帰属し、応募作品は返却しません。  
入賞作品は、ネガ又はデータを提出していただきます。

## 様式

### 平成29年度林業・環境緑化写真コンクール応募票

住 所	
氏 名	
撮影年月日	
撮 影 場 所	
主 題	
説明・その他	

## お問い合わせ・送り先

〒730-8511

広島市中区基町10-52

広島県農林水産局森林保全課内

広島県林業改良普及協会

「ひろしまの林業」担当：與儀(よぎ)

TEL082-513-4840

FAX082-223-3583

E-mail:hirorin@green-hiroshima.or.jp

「ひろしまの林業」は、年間購読料2,000円で毎月号をお届けします。(送料負担なし)

**【トピックス②】事務所の移転について****当協会は9月1日に事務所を移転しました**

(一社)広島県森林協会は昭和52年に、総務課部門を除き、広島市中区上八丁堀8番23号の林業ビルに移転してから40年の年月が経過してきたが、平成29年9月1日(実質は8月21日)に広島市中区鉄砲町4番1号広島県土地改良会館3階に移転しました。

これを契機に、これまで以上に会員である市町の皆様方のために、治山・林道事業の推進を図るとともに、森林・林業を取り巻く環境変化に対応した新たなニーズに応えるべく切磋琢磨してまいりたいと思いますので、引き続き、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



事務所の遠景(広島県土地改良会館 3階)



執務室